

サウナや浴場の魅力に関する研究

－健康増進に繋がる観光－

鈴木碧宙

本研究では、近年のサウナ人気をサウナ施設の多様化という観点から過去と現在のサウナ人気を比較し、現在で老若男女問わず人気になったのかを考察する。

現在のサウナ人気は第3次サウナブームであり、過去に第1次、2次サウナブームが起きている。そこで、サウナが現代まで流行した要因とは何かと考え、仮説をサウナ施設の多様化し、年代も幅広く、年齢問わず流行したと設定した。仮説を証明するために、各サウナブームの期間のサウナ施設の特徴や利用者の特徴、サウナの種類などを比較する。最後にアンケート調査を行い現在のサウナ利用者の意識調査を行い本研究を証明する。

これらのことから、過去のサウナブームでは、サウナ施設は限定的であり、利用者は中高年の男性がほとんど利用しているということがわかった。現在では、サウナを導入する施設が多岐にわたり、幅広く利用することが可能になったことで、年齢性別関係なく利用されることがわかった。アンケート調査からは、サウナ利用経験は男女ともに9割以上の利用があることがわかった。

以上のことから、サウナ施設の多様化により、多くの人が利用しやすくなり、年齢や性別問わず利用されるようになったことが証明された。